

1 題材名 発信！香るイメージ

2 目標

自然物の造形の美しさや面白さから感じ取った香りのイメージを、形や色彩、材料の組合せ等における様々な表現方法を試しながら追求し、自分の思いにこだわって表現する。

3 題材の指導に当たって

本題材では、色彩や構成における基礎的・基本的な知識を基に、色彩のもつイメージから自然物の美しさや面白さを感じ取り、工夫して表現することをねらいとしている。そこで、題材の導入では一人一人の感じたイメージを色彩のカードを使って表現したり、イメージから考えられる色づくりをしたりする活動を取り入れる。色彩から感じたイメージを簡単な言葉で表現させ、イメージが浮かばない生徒には、考えるきっかけとしてオノマトペを提示し、楽しみながらイメージを膨らませることができるようにする。自分のもつイメージを言葉で表現させたり、言葉から色彩をイメージさせたりすることは、構想を練るときに自分の思いを明確にし、思考を助ける有効な手立ての一つになると考える。また、色彩や自然物の香りのイメージに着目させることで、自分との関わりで自然物を見つめ、元の形や色彩の概念にとらわれずにイメージの幅を広げることができるように考える。

完成した作品には、鑑賞するとき香りを感じさせるような「開く」動きを取り入れ、自分のイメージをただ表現するだけでなく、鑑賞する側を意識した表現方法を追求することができるようにする。どのような形や色彩、表現方法が自分の思いを伝えるのに適しているのかを考えさせることで、絶えず自分の思いを見つめながら、思考・判断し、表現する力を育てていきたい。

4 題材の評価規準

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
① 日常における様々な色彩について関心を持ち、美しさや面白さを主体的に感じ取ろうとしている。 ② 自分の香りのイメージを伝えるための美しさや面白さを表現することに関心を持ち、主体的に構想を練ったり、表現したりしようとしている。	① 色彩の組合せで、感情やイメージを表現できることを知り、自分の思いに合った組合せを試している。 ② 香りのイメージを伝えやすくするための形や色彩、表現方法を試しながら、構想を練っている。	① イメージを大切に、紙の特性や表現方法を考えながら、形や色彩の美しさや面白さにこだわって表現している。 ② 描画材や表現方法にこだわりながら、作品全体のバランスを考えて、香りのイメージを表現している。	① 自然物の美しさや面白さ、表現方法のよさを自分の価値意識をもって感じ取っている。 ② 作品のよさや美しさ、香りのイメージを感じ取っている。

5 指導と評価の計画（11時間扱い）

次	時間	〇ねらい、・学習活動	評価規準（方法）	〔共通事項〕の視点
1	1	○ 色彩の仕組みについて知る。 ・有彩色と無彩色 ・色の三要素 ・色彩の組合せ	関一① (観察, 学習カード)	身近なものの色彩の美しさや組合せの面白さに気付く。
	2 3	○ 感情やイメージによって色彩の組合せを考える。 ・イメージから色彩を考えるグループ活動をする。 ・言葉や香りのイメージに合った色彩を考え、色彩カードを作成する。	発一① (観察, 対話, 学習カード, 色彩カード)	色彩の美しさに関心を持ち、自分のイメージに合った色づくりをする。
2	4 5	○ 自然物を観察し、気付いたことをイメージスケッチとして描く。 ・自然物の外観や中身の様子を観察してスケッチする。 ・香りや形、色彩から感じ取ったイメージを簡単な言葉でまとめる。 ○ 自然物からイメージする香りや形、色彩に合った構想を練る。 ・構成美の要素について知る。 ・アイデアスケッチをする。 ・表したい香りや形に合った紙の折り方、開き方を考える。	鑑一① (観察, 学習カード, イメージスケッチ) 発二② (観察, 対話, 学習カード, 色彩カード)	自然物の形や色彩、質感の美しさや面白さに気づき、感じ取ったことから自分のイメージを膨らませる。 自分の思い描くイメージを表す形や色彩の組合せを模索する。

6	○ 香りのイメージに合った形や色彩の表現方法を追求する。	創一① (観察, 対話, 学習カード, 作品)	形や色彩にこだわって自分の思い描くイメージを表す表現方法を追求する。
7		創一② (観察, 対話, 学習カード, 作品)	
8	・下描きをする。(折る, 切る)	関一② (観察, 対話, 学習カード)	
9	・アクリル絵の具の基本的な使用方法を知る。		
10			
3	11 ○ 作品の相互鑑賞を通して, 自然物の美しさや面白さ, 造形のよさを味わう。 ・自然物や香りのイメージごとに話し合っ分る。 ・共通点や違いなどを考えながら, 鑑賞する。	鑑一② (観察, 学習カード, 鑑賞カード)	互いの作品のよさを形や色彩, 感じ取ったイメージの違いに着目して鑑賞する。

6 本時の学習

(1) 目標

イメージを大切に, 紙の特性や表現方法を考えながら, 形や色彩の美しさや面白さにこだわって表現することができる。

(2) 準備・資料

教師…カッターナイフ, はさみ, のり, 用紙(多種類), パネル, ビニルテープ, 学習カード, 色鉛筆, クレヨン,

生徒…イメージスケッチ, アイデアスケッチ, デザインセット

(3) 展開

学習活動・内容	・指導上の留意点, ◎評価, ◇言語活動の工夫									
<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">香りのイメージを形や色彩に表そう。</p> <p>2 制作活動をする。</p> <p>(1) 形や色彩, 質感からイメージを確認する。</p> <p>(2) 形や色彩を試す。</p> <p>(3) イメージに合った材料を組み合わせる。</p> <p>①切る, ちぎる, 裂く ②折る, 丸める, 曲げる ③貼る, つなげる ④塗る, 吹き付ける, 浸す</p> <p>(4) 形や色彩, 質感からイメージを表現する。</p> <p>(美術室の学習環境図)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ツ今イ週ーのト</p> <p style="text-align: center;">黑板(制作手順) 安全の場</p> <table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> <td style="width: 33%; height: 40px;">□</td> </tr> </table> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 自然物写真 形のパネル 言葉と色彩のパネル </p> </div> <p>3 本時の活動を振り返り, 形や色彩の視点からまとめる。</p>	□	□	□	□	□	□	□	□	□	<p>・本時の学習課題を確認し, 各自が立てた目標を意識して活動に向かわせることで, 生徒の主体的な活動を促す。</p> <p>・本時の目標が立てられない生徒には, どこまで制作を進めたいのか, 具体的な制作順序から考えさせ, その上でどんな作品をつくりたいのかイメージをもたせる。</p> <p>◇制作に入る前に, 自分の主題に合ったイメージをイメージスケッチやアイデアスケッチ, パネル等を使って言葉や色彩で確認させる。</p> <p>◇形や色彩を表した簡単な言葉や生徒がつくった色彩のカードをパネルを使って提示しておく。その際, 分類用のビニルテープを用意し, 自分のイメージに合わせてそれらを自由に分類できるようにする。</p> <p>・「安全の場」で使用するカッターナイフなどの刃物類の安全指導をし, 全員で確認する。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">◎イメージを大切に, 紙の特性や表現方法を考えながら, 形や色彩の美しさや面白さにこだわって表現している。 (創造的な技能) (観察, 対話, 学習カード, 作品)</p> <p>・「安全の場」では, 生徒が自由に切ったり折り曲げたりできるように, 再利用紙を用意しておく。</p> <p>・折りの形の面白いものや美しいものはパネルに展示し, 生徒が何気ない紙の造形の美しさに気付けるようにする。</p> <p>・各制作段階での生徒のつまづきは, 前時の学習カードから事前に把握しておき, 積極的に支援していく。</p> <p>・イメージの中の形や色彩を具体的に表現できる材料や表現方法について, 対話やアイデアスケッチとの比較によって導き出す。</p> <p>・カッターナイフやはさみを使用している生徒には, 安全な使用を呼び掛け, 常に注意して生徒の活動を観察する。</p> <p>・よりイメージに近付けるため, 制作の一つ一つの段階を「どうすれば目的の形にできるのか, 「なぜそうするのか」を考えさせてから具体的な指示をしていくことで, 生徒が見通しをもって制作する素地を養う。</p> <p>・頑張っ作業している生徒や表現方法の工夫について積極的に取り上げながら, 「分かる, できる」喜びを味わわせることで主体的な活動を促す。</p>
□	□	□								
□	□	□								
□	□	□								